

平成19年度第4回公立大学法人会津大学経営審議会議事概要

- 1 日時 平成19年12月12日(水) 13:10~13:55
- 2 場所 会津大学管理棟3階 大会議室
- 3 出席者
監事等2名: 橋元顧問、有馬監事
委員9名:(学内委員) 角山理事長(議題Aについての議長)、N.Mirenkov 副理事長、黒田理事、
牧田理事、斎藤理事(議題B以降についての議長)
(学外委員) 菅家委員、酒井委員、南委員、杉原委員
事務局職員
- 4 議事録署名人 斎藤委員、牧田委員
- 5 議事
<議題>
A 平成20年度予算編成について
斎藤理事から平成20年度予算編成について説明を行い、以下の意見交換等を行った後、
原案どおり了承された。

(意見等)

- 福島県が提示した一般経費の削減率は12%減であり、本法人の削減率は5%減であるが、この乖離をどう考えているのか。
 - ・本来の中期計画上の削減は1%減であり、急激な経費の削減は法人の経営を立ち行かないものとしてしまう。しかしながら、福島県の逼迫した財政状況を考慮し、ぎりぎり5%減の要求とすることを了承することにした。5%減を達成するための経費見直し内訳は説明したとおりである。

(意見等)

- 今後の長期的な法人運営上、経費削減は大丈夫なのか。
 - ・会津大学の成果には大きなものがあると認識しているが、(福島県への交付金予算の要求においては)医大と比較されると、県民の生命財産の緊急の課題とは言えない。(ぎりぎりの経費削減を行いつつ法人運営を図る必要がある。)皆様方には、県内において、県民からの会津大学への支援、応援が増えていくようなことも考えて頂きたい。

(意見等)

- 経費の見直し項目にコンピュータシステムがあるが、最新の機器で研究教育がなされる環境は維持されているのか。
 - ・今のところ、三年間で更新しており、教育研究環境は維持されていると考えている。

(意見等)

- 予算削減率の12%、5%及び1%には何らかの根拠があるのか。
 - ・1%については、効率化係数であり、法人化によるコストの縮減である。12%及び5%については、福島県の財政逼迫状況から法人に依頼される削減目標値及び平成19年度予算編成において福島県と平成19年度予算の削減率として妥結した削減率であるが、根拠といえるほどのものではない。

B 理事長候補者の推薦について

総務グループ参事から、理事長選考の仕組み、日程について説明を行った。そのなかで、法人規程において、経営審議会が2名以内の理事長候補者を推薦できる旨を説明し、審議を開始した。

黒田委員から以下の提案があった。

(提案)

- 現理事長である角山理事長を経営審議会として理事長候補者に推薦したい。
- この議題の審議については、理事長候補者に私が提案する角山理事長が議長として審議することは、中立性公平性に欠けることから、本人には退席を御願いし、新たな議長のもと審議することを提案する。(経営審議会委員には理事長選考会議の委員がいることから、)私としては、理事長選考会議の委員ではない経営審議会委員である斎藤理事を議長とすることを併せて提案したい。

黒田委員の提案を受けて、本議案以降の審議について、斎藤理事を議長として審議することについて諮ったところ、全会一致で了承された。

角山理事長は退席し、斎藤理事が以後の議長となった。

先ず、斎藤理事(議長)から、経営審議会の推薦する理事長候補者について、角山理事長以外の提案がないのか、委員に諮った。

委員からは、角山理事長以外の提案が無かったことから、角山理事長を経営審議会が理事長候補者として推薦するのかどうかについて審議することとし、黒田委員が提案(推薦)する趣旨について以下の説明を行った。

(提案趣旨)

以下の角山理事長の実績及び法人経営方針の継続性の観点から提案した。

- 法人化後初代の理事長として、円滑な運営を2年間実施してきた角山理事長の実績を考え、今後の法人の運営を少なくとも、もう一期、四年間は御願いする必要があると考える。(角山理事長の経営実績)
- 会津大学が公立大学法人化して僅か2年、法人の更なる発展及び経営の継続性を確保するうえでは、現理事長である角山理事長に再度理事長を御願いする必要があると考える。(法人の経営方針の継続性)

各委員から、以下の提案及び意見等が出された後、全会一致で角山理事長を経営審議会から理事長候補者として推薦することが決定された。

斎藤理事(議長)から、角山理事長が理事長候補者として推薦されることについて本人からの同意が得られれば、理事長選考会議に書面で推薦すること及び書類の作成については議長である斎藤理事に一任することについて諮り、了承された。

(提案及び意見等)

- 短期大学の運営についても、角山理事長は(法人化後の2年間において)地域活性化センター及びキャリア支援センターの開設等、積極的な展開を実施されてきた。(短期大学部長である)私としても、次期理事長候補者として角山理事長を推薦したい。

(提案及び意見等)

- 角山理事長を理事長候補者として推薦したい。確認であるが、任期は何年間となるのか。
・ 規程上 4 年間となる。

(提案及び意見等)

- (法人として所管する)会津大学(学部長)及び短期大学部(学部長)の両方が同じ人物を推薦する提案を行う状況は、(法人として)望ましい状況であると考え。角山理事長を理事長候補者として推薦したい。

(提案及び意見等)

- 商工会議所役員としての立場からして、今後とも、会津大学との積極的な関係を考えている。角山理事長と(商工会議所は)良好な関係を有しており、角山理事長を理事長候補者として推薦したい。

(提案及び意見等)

- ベンチャー育成等の施策を行うためには、ある程度の期間をどうしても必要とするものであり、今後 4 年間継続して角山理事長に理事長となって頂くことが望ましいと考えている。角山理事長を理事長候補者として推薦したい。

(提案及び意見等)

- 監事の立場として、法人化後初めての理事長選考であるので、法令、定款を遵守した手続きに留意願いたい。

平成 19 年 12 月 日

議事録署名人

印

議事録署名人

印

平成19年度第5回公立大学法人会津大学経営審議会議事概要

1 日時 平成20年3月26日(水) 15:10~16:30

2 場所 会津大学管理棟3階 大会議室

3 出席者

監事等2名: 橋元顧問、有馬監事、栗城監事

委員9名:(学内委員) 角山理事長、黒田理事、牧田理事、斎藤理事

(学外委員) 武藤委員、菅家委員、酒井委員、杉原委員

事務局職員

4 議事録署名人 黒田委員、牧田委員

5 議事

<議題>

A 平成20年度年度計画案について

理事長から四大の平成20年度計画の主要な取り組みについて説明し、引き続き牧田理事から短大の平成20年度計画の主要な取り組みについて説明を行った。以下の意見交換等を行った後、原案どおり議決された。

(質疑)

○ 中期目標・中期計画の見直し等について質問が出され、斎藤理事から説明を行った。

(意見等)

○ 会津大学による地域貢献を伸展させるため、体制等も強化していただきたい。

・本日結論を出せる案件ではないので、今後議論を継続することとした。

B 平成20年度予算案について

斎藤理事から、平成20年度予算案について説明を行った。更なる効率化や環境配慮について意見交換等を行った後、原案どおり議決された。

C 組織等規程の一部改正について

総務グループ参事から、組織等規程の一部改正について説明を行った後、原案どおり議決された。

D 職員就業規則関係の一部改正について

総務グループ参事から、職員就業規則関係の一部改正について説明を行った後、原案どおり議決された。

<報告>

A 職員給与関係規程の一部改正について

総務グループ参事から、職員給与関係規程の一部改正について報告を行った。

6 その他

理事長から、2年間に及ぶ経営審議会委員の委嘱期間が3月末で終了することから、各委員に対し御礼の言葉を述べた。